

平成28年度 友好都市交流事業報告



日本に火縄銃が初めて伝わった門倉岬で記念撮影。海の方へ向くには屋久島が見えました！

貝殻でアクセサリー作りに挑戦！



古代広田人
あらわる!?



南種子町の小学生と広田遺跡ミュージアム、赤米館、そして種子島宇宙センターを訪れ、一緒に種子島の歴史や文化、そして科学技術について学びました。目にするものが新鮮で驚きと発見の連続でした。

自分が住む飛島村との違いを発見することで、改めて故郷の良さを再発見するきっかけになったと思います。



友情の手作り名刺交換



初めて食べたさとうきびの甘さにびっくり!!



種子島宇宙センター見学ツアー。間近で見るロケットエンジンの大きさに驚きました！



南種子町の子どもたちから、友好の証として素敵な寄せ書きメッセージをもらいました。

本村は、昨年6月に鹿児島県南種子町と友好自治体提携をしました。その一環として、12月23日(金)～25日(日)の2泊3日で、小学6年生10名が同町を訪れました。現地の児童たちとの交流や様々な場所での研修など、貴重な体験を通して交流団一人ひとりが研修テーマにそって、学びを深めることができました。

日本の北限とされる自然の宝庫であるマングローブパーク、干潮のときのみ入れる千座（ちくら）の岩屋など、南種子町の自然にたくさん触れることができました。

また、南種子町郷土館では、昔の人たちの生活の知恵から生まれた道具や、一本の木をくりぬいて作った漁師用の船を見ながら地元の暮らしについて学びました。



南種子町の
海の幸を満喫！



懐かしの
輪ゴム鉄砲



この研修に参加していなかったら、ロケットについて学ぶことができなかったし、大自然とふれあうことができなかったし、交流の輪が広がっていなかったと思います。今回友達になった南種子町の子から年賀状をもらいました。この事業に参加して、たくさんのお得を得ることができました。（伊藤 杏花音）